

# 愛の家 中期経営計画

## 1. 基本理念に沿った事業運営

- 一. 利用者が人間としての尊厳と誇りを持ちながら、豊かな生活がおくれるよう支援します。
  - ☞生きにくさ（不自由さ）が軽減され、生活や仕事がしやすくなるよう、そして決して支援するものの価値観を押し付けることのない支援をします。
- 二. 施設から出て、地域で“あたりまえに”暮らすことができるよう経過施設の役割を果たします。
  - ☞いつかは生まれ育った所、慣れ親しんだところに戻って生活ができるように支援をします。

【国の地域移行目標（案）】平成32年度末までの4年間で3名以上
- 三. 利用者の経済的、社会的な自立をめざして、労働の保障・就労支援に力をいれます。
  - ☞児童は学校に行けるように、成人は仕事をするによって収入を得て、地域で生活ができるように、仕事の確保又は就労に結びつくよう支援をします。
- 四. 地域に開かれ、地域の人たちとともに歩むことができる施設をめざします。
  - ☞施設の敷居は低くし、地域の方から気軽に声かけをしてもらえよう、積極的に地域に出ていき、交流を深めます。

### 【ビジョン】

共に学び、共に育み、風通しが良く、明るくイキイキ、そして和気藹々な職場を目指す

## 2. 運営（活動）計画

### (1) 安定した収益の確保について

- ・（成人）計画的かつ効率的な運営により、2か月以上の空床を発生しないようにします。
- ・（児童）将来を見据えて、年齢バランスを考慮した入所児童の確保に努めます。
- ・（GH）収支構造の改善に向け、事務所一体型ホームの新設（集約）を検討します。
- ・（通所）積極的な休日開所による収入増とグループホームの人件費削減に貢献します。
- ・システム導入による事務作業の効率化と時間外労働の削減を図ります。
- ・職員の夢に沿った新規事業の開拓又は事業領域の拡大を目指します。

H 2 9	H 3 0	H 3 1
●————→		
●————→		
要件検討 基本設計	建設着工 提供開始	————→
●————→		
試行導入 本格導入	効果測定 対策実施	追加サービスの検討
施策検討 職員確保	事業開始	————→

### (2) 人材確保について

- ・近隣の福祉系専門学校及び高等学校への求人活動を行います。  
（大阪泉州地域・和歌山県）
- ・法人本部と連携し、他府県新卒者への求人活動を行います。  
（九州・中国・四国等）
- ・職員から紹介による第二新卒者等へのアプローチを積極的に行います。
- ・求人情報誌や折り込みチラシ等を活用し、定期的な人材確保に努めます。

H 2 9	H 3 0	H 3 1
●————→		
●————→		
●————→		
●————→		

(3) 人材育成について

- ・介護福祉士資格の取得推進のため、実務者研修費用の補助を行います。
- ・業務に関連する資格試験合格者の受験費用を負担します。
- ・1年未満の職員を対象とした新人研修を毎年実施します。
- ・年数及び役職に応じた研修プログラムを設定し、定期的に研修を実施します。

H 2 9	H 3 0	H 3 1
合格者 1名	合格者 2名	合格者 2名
●————→		
●————→		
プログラム 検討	研修実施	————→

(4) 情報 (Know-how) の整理・蓄積

- ・各種マニュアル (新人育成・支援・事務・調理等) を作成し、標準化を図ります。
- ・職場面談を通じて職員の“声”を聞き、風通しの良い職場を作ります。
- ・“声” (利用者さん、保護者・地域の方等) の収集に努め、より良いサービスを提供します。

H 2 9	H 3 0	H 3 1
検討開始 素案完成	運用開始 検証	改善
●————→		
●————→		

3. 設備更改計画

(1) 防災対策について

- ・非常口の扉は、火災報知器の鳴動と連動して開錠となるようにします。(平成29年度末)
- ・消防点検により不備事項が判明した場合は、原則2か月以内に修理を行います。
- ・法定避難訓練 (年2回) と施設独自の避難訓練 (月1回) は必ず実施します。
- ・現行の防災フローチャートをベースに、防災マニュアルを策定します。
- ・保護者等への緊急連絡先リストを整備し、常に現行化を行います。
- ・緊急時における職員への一斉連絡及び安否確認方法等について検討します。

H 2 9	H 3 0	H 3 1
業者選定 工事実施	運用開始	————→
●————→		
●————→		
策定 運用開始	————→	
●————→		
試行実施 運用開始	————→	

(2) 老朽化設備の更改について

- ・導入後15年を経過した設備の洗い出しと更改計画を策定します。
- ・故障時には速やかに復旧ができるよう連絡先等の整理を行い、万が一に備えます。
- ・補助金等を活用した効率的な設備更改に向け、行政情報の把握に努めます。

H 2 9	H 3 0	H 3 1
洗い出し 順位決定	順次更改	————→
●————→		
確認・申請	確認・申請 活用	確認・申請 活用

(3) 大規模修繕について

- ・将来の立て替えに向けた建設修繕積立の確保に努めます。  
(2500万円/年)
- ・事務所機能を備えたグループホームの新設に向けた準備を行います。

H 2 9	H 3 0	H 3 1
2500万円	(累計) 5000万円	(累計) 7000万円
要件検討 基本設計	建設着工 提供開始	————→

#### 4. 安全管理

##### (1) リスクマネジメントについて

- ・利用者さんの定期健康診断において、病気等の早期発見の為、血液検査の実施を検討します。
- ・40歳以上の利用者さんには、ガン検診の受診を勧奨し早期発見に努めます。
- ・ヒヤリハット事例の収集と周知を徹底し、交通事故及び支援事故の防止に繋がります。
- ・感染症、食中毒予防対策講習会は必ず職員を参加させ、予防に努めます。
- ・インフルエンザ予防接種は、職員については施設負担にて原則全職員接種をします。
- ・利用者さんのインフルエンザ接種は、保護者等の承諾が得られた方のみ嘱託医に接種を依頼し実施します。(自己負担)
- ・産業医参加のもと安全衛生委員会を毎月開催し、11月には安全衛生講習会を開催します。

	H 2 9	H 3 0	H 3 1
検査機関等の検討		実施	→
内容・病院等の検討		実施	→
	●	→	
	●	→	
	●	→	
	●	→	
	●	→	

##### (2) コンプライアンス遵守について

- ・研修等によりコンプライアンス意識の浸透を図り、コンプライアンス違反を防ぎます。
- ・昔の風習の見直しや従来通り行っているルーチンワークが本当に正しいのかを検証します。
- ・ハラスメント、個人情報保護、人権擁護等をテーマとした研修を毎年開催します。
- ・コンプライアンスについてのチェックシートを作成し、客観的評価を行います。

	H 2 9	H 3 0	H 3 1
	●	→	
	●	→	
	●	→	
	●	→	

#### 5. 社会貢献

##### (1) 地域住民との交流について

- ・自治会活動や地域で開催されるイベント等へ積極的に参加します。
- ・地域の方に気軽に施設を利用してもらえるよう周知し、開放的な施設にします。

	H 2 9	H 3 0	H 3 1
	●	→	
	●	→	

##### (2) ボランティアの受け入れについて

- ・気軽にボランティアに来ていただける(参加できる)ような雰囲気施設の施設にします。
- ・月1回以上意見交換の機会を設け、快く活動していただけるようにします。
- ・年度末にはボランティア感謝会を開催し、労をねぎらい感謝の気持ちをお伝えします。

	H 2 9	H 3 0	H 3 1
	●	→	
	●	→	
	●	→	